

選者：川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌
「川柳マガジン」三元選者）

特選



シマウマが寝そべっている横断歩道
シマウマが寝そべっているとは童心の産物である。だけども、アフリカでシマウマを見て、横断歩道だなんて言っちゃダメ。
宮井 園江（松山市）



親指が優遇される
この方は、親指が優遇されていることに不満なのだ。下駄草履は足袋と同様、日本の伝統文化なのだ。いやなら洋式のスリッパにしてもいいさ。
藤原 白男（今治市）

佳作



富士山が良く見えますよ
はつきり申しまして、富士を眺めるのは無料ですし、毎日眺めても減るものじゃない。それを減らさず富士と呼んでいます。それは減らず口だろ。
花山 昇（松山市）



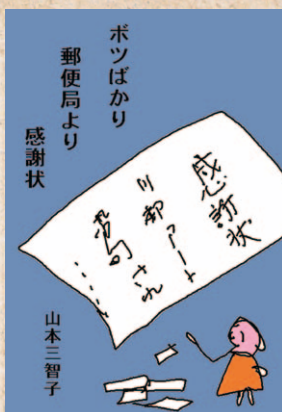
鬼は外
心の鬼を
鬼は外心の鬼を放り出す
心の鬼を放り出したら天使のような人間になるだろうね。すると意地悪さがなくなつて川柳がへたになる。鬼は内と叫んで川柳方向上を目指せ。
武井 基次（松前町）



テレビへ叫ぶ
打て打てとテレビへ叫ぶ缶ビール
ホームラン出る度に缶ビールが出る。八百長行為にはなるが、投手を買収すると言う手もある。百万ほど出せば……。缶ビールより高くつくが。
松友 順三（松山市）



孫の歯が生えたと言って脛齧る
脛を齧られるのは、婆ちゃんだね。孫のためなら齧られても痛くない。「目の中に入れても」とも言うが、あれば絶対に痛い。しかし、孫が数人いたら齧り尽されて「ふくらはぎ」だけの足になる。
加賀山一興（宇和島市）



ボツばかり郵便局より感謝状
「ボツばかり」と郵便局に申告したのですか。それとも郵便局の係が読んで「ボツ」ばかりと判断したのだから。ならば選者に迎えよう。
山本三智子（宇和島市）



極太も極細も出品の足湯
道後の足湯も評判ええですなあ。八木健は最近、足湯の俳句を詠んだ。「マドンナの素足を眺め足湯かな」。この句はインターネットの「読むだけで俳人になれる講座」に掲載予定。
西野 周次（松山市）



おじいちゃんか…… ショック

三好初美（西予市・57歳）

65歳の主人。ある高校で用務員として働いている。器用なので、校舎や電気修理など丁寧に行っている様子。フェイスブックにも一生懸命で何かと楽しんでい。実は主人、クロス刺しゅうがとて上手。女子生徒にプレゼントしたら喜んでもらえて「おじいちゃんみたいで安心だね」と言われたとか。主人が「おじいちゃんか。若いつもりなのにシヨクダなあ」とつぶやいた。私が「何言ってるの。3人も孫がいて、おじいちゃんよ」と言ったら「そうか。生徒から見てもそうなんだ」としよけていた。

娘と新聞

節約ママ（鬼北町・53歳）

8年前、当時5歳の娘のことを「ひろば」に投稿した。その娘もはや中学生。新聞を読むようになってほしいと思ひ、小学5年生から新聞をめぐらせるよう、あれこれとしかけていた。そのかいあって今は起きるとまず新聞。文章を書くのが苦手なせいで「ヤン落」に投稿するまでになった。自分の思うように気楽に書けるのがいいみたい。「文章書くのがキライ」から抜

洗濯は毛布だけ
（宇和島市・69歳）
都忘れ
コインランドリーに毛布3枚を持って行った。2枚用しか空いてなかったの。運んでくれた夫に「1枚は犬用にするので洗わなくていいから、2枚だけ入れて」と言った。すると先に来ていたお客さんが「犬は入れてはいけん。ペットは入れないように書いてある」と。聞き間違えられたのか、洗濯機に犬を入れた人がいるのだろうかと思ふと……。急にわが家の愛犬の顔が浮かんだ。

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。
※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp